京都帝國大學新聞

月二回發行　五日　廿日

購讀料　一部五錢(郵稅五厘)　一年一圓(郵稅とも)
廣告料　一行につき金五十錢(記事中は此二倍)　掲載ページを指定するときは二割增とす
發行編輯兼印刷人　入山雄一
發行所　京都帝國大學學友會新聞部
電話上九八〇番　振替京都八二〇三

新學期を迎へて本部肅正殆ど成る

五課長のうち四課長まで更迭

事務系空前の大異動

濱田總長がタクトをとる學內肅正の工作は、前號既報の如く岸書記官、岸田會計課長の收容後さらに木村醫院事務官の收容を見、飛沫は遠く文部省にまで及ぶの狀態にたちいたつた、一面これとは別に總長の肅學の決意をくんで豐田庶務、阿部學生、水上管理三課長の辭表提出となり、それ〴〵別項「學內辭令」の如く發令された、なほ本稿しめ切りまでには發令を見なかつたが、學生課長後任は天野貞祐博士に、醫院事務官には文部省普通學務局屬高橋清一氏が內定、その他武道二十二段の猛者としてきこえた大野學生主事も辭表を提出中、これまた後任は三高生徒主事兼教授日高第四郎氏(大正十一年本學文學部哲學科出身)に內定してゐる、かくて清新の顏ぶれをそろへ、いよ〳〵陣容を整備して明朗京大の再建へ! その巨大な第一歩をふみ出した

學內辭令

技手兼書記　山田雄二郎
書記　田村　成隆
文官分限令第十一條第一項第二號に依り休職を命ず(八月四日付)
休職書記官　岸　興詳
同　事務官　岸田　源壽
文官分限令第十一條第一項第二號に依り休職を命ず(同十日付)
中村恒三郎
任書記官(三等一級)(同十一日付)
學生主事補　山本　俊雄
任書記兼學生主事補
庶務課長心得を命ず(同十六日)
化研書記兼事務官　木村　鳳三
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず(同日付)
學生主事　阿部　三四
一級俸下賜、依願免本官(十七日)
書記　大友　春松
醫院事務長事務取扱を命ず廿四日
休職事務官　木村　鳳三
文官分限令第十一條第一項第二號に依り休職を命ず
事務官　豐田多久藏
依願免本官(同卅一日付)
(管理課長)書記　水上邦三郎
同　楠野　至厚
同　酒田　滋彦
同　藤田　忠美
同　中西　周三
依願免本官(同卅一日付)
地方事務官　入江　巖
任本學事務官(六等七級)
會計課長を命ず
管理課長兼務を命ず(九月四日付)
書記　大木　占城
會計課長事務取扱を免ず(同日)

道理の實現を信頼!

學生課長に天野博士內定す

その抱負を聞く

天野貞祐博士

學生と最も密接な關係にあり、しかも在來とかく問題視されてゐた學生課の中樞に今度新學生課長として文學部教授天野貞祐博士を迎へることに定り、早くも濱田總學長として折紙がつけられて"明朗京大のため"ならばと敢へて身を煩瑣な地位に乘出された博士の決意に對しては學の內外から絶讚、全學六千の學生は擧げて"明朗學生課"、"明朗京大"建設の推進力としての博士の今後に絶大の期待をかけてゐる「人間は人間たる以上、道理を道理とし、不道理を不道理として感得することが出來る、人間は道理の感覺者、媒介者、實現者として個人格であり、夫々の持場において道理を媒介實現することが人間存在の意味であり矜持である、斯かる意味の個人格を沒却しては忠孝も愛國も考へられない、恐るべく戒むべきは外敵よりか寧ろ國內に不道義の跋扈することで、國を衰滅させるものが常に國內における不道理の支配であることは歷史の證明するところである……」と博士はその近著"道理の感覺"において述べてゐる、手近には學內においてもかゝる不道理はかりそめにも博士の許されない所である筈だ、つねに道理の實現を信じ、行爲の自由が如何に壓迫されるにしても道理に絶する人間の感覺は束縛され能はず、匹夫も志を奪ふべからずとする博士の信念が通れば道理がひつこむ世の中に飽くまで道理の實現を信じ、一切の反道德的、反理性的なるもの、憂戚に限りない深憂を寄せる博士、時恰も斷乎として肅學途上を進む本學だ、この秋に當り道理の媒介者として眞理性への愛着と道德性への熱意にもゆる博士を學生課長として迎へ得たことは何ものにも代へ得ない喜びであらう、一日博士を研究室に訪れて抱負を聞く

一般教養の立場から學生の人間完成へ

◇先づ學生課長として學生課に對する御考へは—

教授が專門の學問を通して人間完成を努めるやうに、學生課は一般教養といふ側面から學生の人間完成に寄與することが大切だと考へます、そしてそれと同時に學生の親切な相談相手といふことも任務です、この場合親切といふのはたゞ學生諸君のいふことを唯々諾々として聞くといふだけでなく、學生の人格を充分尊重すると共に、自分らも一定の識見を以ていはゞ獨逸語のフロインドリッヒな意味を以て絶えず協力調和して行くといふことでなければなりません、又その際、若し學生諸君のうちに學生課を單に取締りするとか監視する所だとかいふ偏見があつたらどうかさらいふ偏見を捨てゝもらひたい、學生諸君も私達も一定の識見を以て暖かい協和のうちに手をつないで共同して行きたいと考へてゐます

學內銓衡は萬止むを得ぬ時だけ

◇學生課では學內銓衡といつて各會社や銀行其他の採用申込に對して豫め學生課では試驗を施行しその合格者のみを推薦するといふ方法をとつてゐるが、その場合にどういふ標準で銓衡されるのか、また申込み諸會社の採用の標準と學生課の標準とは必しも一致するものとは云へまいし、それに或會社等では特殊技能その他種々異つた條件もあることだし、色々そこに困難な問題があると思ひますが……勿論或會社では向ふから特に一定の銓衡を要求して來る所もありませうが、さうでない一般の場合には色々問題になると思ひます、何分就職といふことは多くの學生にとつては喰ふか喰はれるかの大切な問題なのですから

何分まだ事情もよく知りませんしそのうち充分事情を調べた上で研究したいと思つてゐます、差當り今年は從來通りにして貰ひましたが、唯その際銓衡する人が高踏的な言辭を弄したり、いさゝかでも學生諸君の自尊心を傷けたりすることのないやうに、公明正大を期するやうにお願ひしておきました、勿論向ふから豫め敢て銓衡を要求して來ない所は全部推薦するやうに希望しておきました、實際私達にした所で一々の學生諸君を全部知つてゐるわけでもあるまいし、單なる通り一遍の基準などによつて學生諸君の一生の方向を或る意味で支配するやうな問題を、私の方で二重にかれこれするといふことは難しいことです、まことに銓衡は困難なことで、出來ることならせないで濟むものは全部せず、萬止むを得ないものだけ銓衡するといふことを考へてゐますが……

學友會は全學の爲といふ觀點から

◇學友會問題に對する御抱負を伺ひたいと思ひます

運動部といふものは私のいふ學生の一般教養といふ點からすれば關係の薄いものでせう、スポーツは單なる體位の向上だけぢや意味がないでせう、例へば個と全との關係に於て個を全の中に沒してその中に個を再發見するとかさうした精神的な意味を考へることが大切です、豫算も、各部の性質その大衆性その他色々な點を考慮して公平に分配すべきだと思ひます、全學生の爲めのものとしては大學新聞があるだけですがやがては講演會を開くとか映畫の鑑賞會を開くとか、學生諸君の一般に參加出來しかも私のいふ一般教養に役立つことの出來るものを增したいといふ考へを持つてゐます、會費ももつと安くして全學生をうるほすやうにしたいと思ふ、今までのやうな學友會ならクラブにした方がよいといふのも充分道理があると思ひます、ラショナルに考へれば確にさうでせう、たゞ今まで存立して來たものにはやはり何かそこに存立の意義があつたのだから生かして置いても價値のあるものは出來るだけ生かしてやりたいと思つてゐます、合理といふことは尊重しますが、それは惰性的といふ意味でなくて理性的でなければならない、理性的と云ふ場合にはそこに歷史とか成立ちとかいふことも入つて來るのでその點を全然無視するわけには行かない"全學のため"といふ觀點から離れてゐると見られてゐる部の諸君は、全學のものであるといふ認識を新たにされると共に、一般の諸君も學友會にいくらかでもいゝ寄與しやうといふ考へを持たれたら學友會の問題も何らかの曙光を見出すのぢやないかと思ふ、理想には一擧に到達しがたいものです、差當つてはまあ右のやうな所で調和して行くべきぢやないでせうか

會費問題は

◇學友會費未納の問題について…元來この問題は現學友會に對する未組織學生大衆の無言の意志表示とも見られないことはないのですが、これに對して學生課は殆んど半強制的な徴收方法を講じ、剰へ就職の時に云々の半威嚇的行爲を敢てしてゐるやうです、これに對して先生の御意見は如何ですか—

まだ何分事情をよく知りませんので、よく調べて研究しませう、しかしかりそめにも學生諸君にさういふ不當と思はれることのないやうに充分取計らひたいと思ひます

現代學生に望む

◇最後に現在の大學生に對する御注文を言つて下さい—

大學の學生になるといふことは才と財と健康が揃はねば許されません、諸君は一應この條件を具へてこゝまで上つて來られたのです、自分が帝大生になつて見れば何でもないやうに思ふかも知れませんが、一般の社會の人から見れば仲々容易になれるものではない、この惠れたる條件を持つておられる諸君は帝大生といふプライドを感ぜられると共に又一面それだけ責任があることを自覺して欲しい、學生課としては諸君の一人一人が皆有意義に學生生活を續けられるやうに努力すると共に學生諸君も又その責任を感じて努力していただきたい、大學生は何といつても學問をすることが本質だと思ふ、私等も諸君が氣持ちよく勉強出來るやうな"場"を作りたいと思つてゐる、大學自體は勿論完全だとはいはない、しかしこれを大學全體として見ると、研究施設等諸般の設備において他の何れの場所よりも勉強出來る仕組になつてゐると思ふ、どうかしつかりやつて下さい

▼

色々述べたが何分まだ事情もよく存じないので今日は私の心構へを述べただけです、具體的なことは今後いろ〳〵調査研究して適宜に處置を講じませう、いゝことなら何でもやりたいが微力にして期待に副ひ得るかどうか……又色々意見があつたら遠慮なく言つて來て下さい……

經濟界の變轉に對應して

經濟學部で特別講義增加

經濟學部では最近經濟界の實狀が目まぐるしいテンポを以て變轉を遂げつゝあり、加ふるに在來、經濟學部の學生は一般に此目まぐるしい現狀に對應すべき技術的方面に於ての研究がとかく不足がちであり、工業界と經濟界との關係の益々密接不離になりつゝある狀勢に照し、これが明確なる認識を把持すべく廣く學の內外から適任者を招いて特別講義を連續的に開講して如上の要求に答へることになり先般來汐見經濟學部長の手でそれ〴〵適任者を考慮中であつたが差當つて內諾を得たものに

(一)工學部瀧山教授の「關門トンネル」について
(二)元東京商大教授高垣寅次郎氏の「銀問題」について
(三)第一銀行取締役田中二郎氏の「金融問題」について

があり、更に文化方面その他それ〴〵の權威者十數氏に交渉中である

停年教授の横顔

「イ、カネ、山の峠に茶店があると假定する、そして、そこへ痩馬が澤山の荷物を背負ひ乍ら喘ぎ〳〵登つて行く、やつとそこで荷物を下してその下り坂を下つて行くといふが今の氣持だよ、勿論僕はいつも荷物を背負うて來たので今急にその荷物を取り去るといふことはヤレ〳〵といふ氣もするが、又一面何ともいへない淋しいことだね……」

"身上相談ならいつでも來給へ"

われらの慈父・土木の瀧山さん

時は九月十日、初秋といふに冷たい雨のしよぼ降る研究室の晝下り、語る人は土木工學の父として學生から慈父の如く慕はれてゐる瀧山さんだ、去月三十一日付で停年のため退官された敎授は本學でも一番古い卒業生として本學の前身理工科大學を明治卅三年に出て直に鐵道省に入り、鐵道技師生活を二十三年餘りもつとめ上げた、當時新たに設定された停年制のため、工學部から三見、田邊、小川の三博士を一度に失ひ、鐵道及びトンネルの講座が缺けたので田邊敎授の後任として大正十三年二月招聘されて大學入りをしたわけで、爾來十三年、自ら學生の世界に身を置いて彼等の研究指導に親身になつて來た人であり、停年とはいへ未だ壯者をしのぐ矍鑠たる姿に學生一同は深く名殘りを惜んでゐる

「夏の陣がすんで世は太平甲冑を捨て、弓矢を捨てゝ自分の故鄕へ歸つて浴衣に着代へて團扇を使つてゐるやうな氣持ちだとも言へる、そんなら僕は豐臣方か德川方かといへばどうも敗殘の豐臣方らしいよ、そこで、僕は發句をやるんだがね、この間も街の新聞記者が退官の感想を述べろといふので"夏の陣すみて浴衣に着替へけり"ツてね……僕は鐵道官吏で終るより、どれだけこの方が幸せだつたかといつも感謝してゐる、母校へ歸つて來て六百人からの若い人達を知つた、其すく〳〵と伸びて行くのを見守てゐるのは教職にある者以外には絶對に知ることの出來ない幸せだ、僕は若い人達が大好きだ、學生諸君はみんな僕の若い友達だ、退官したつてまだ當分は京都にゐる、諸君の相談なら何でも引受けるぜ、まあ僕の室は人事相談所といふ看板をかゝげてゐると思つていつでもやつて來給へ、趣味かね別にないよ、ジャパニーズ・ダンスつてのを君知つてゐるかね、學生諸君のコンパなんかで僕の十八番になつてゐるんだがね、そのうちに御披露することもあると思ふよハヽヽ……」と語る瀧山さんは、云ふまでもなく我國鐵道及びトンネルの權威者であり而も人間味溢ふるゝ溫情の學者である

來年三月まで講義を續ける

なほ同敎授擔任の講座は敎授の出した第一回卒業の愛弟子であり目下ベルリンで研究中の小林東助敎授が擔任する事になつてゐるが明年三月までは講師として講義をつゞけるさうだ(寫眞は瀧山さん)

本年度科學研究獎勵金きまる

うち本學關係は五件

文部省の科學研究獎勵金十二年度分はこのほど交附金額を決定發表されたが、うち本學關係は左の如く精神科學二件自然科學三件である

【精神科學】▼日本古代文化の研究四百四十九圓(囑託)室田泰一▼わが國體の歷史的並に哲學的研究に基く日本國民經濟學の確立五百四十九圓(敎授)石川興二

【自然科學】▼非硫化鑛物類の石鹼浮選並にこれに及ぼす各種試藥イオン等の影響に關する基礎的研究五百圓(助教授)金澤一雄▼酸化還元電壓測定に對する「ポーラログラフ法」の應用五百圓(助教授)舘勇▼「アルミニウム」銀合金の熱處理硬化性に及ぼす少量の諸元素の影響五百圓(化學研究所員)宇野傳三

會計課長に

地方事務官から

入江巖氏新任

大學の兵站部を司る新任の會計課長入江巖氏は六高を經て大正十五年本學の法學部英法科卒業、高文行政科にパス、昭和二年神奈川縣屬部補を振出しに土木主事、社寺兵事課長、土木經理課長、社會課長を歷任した少壯官吏で、中村書記官が神奈川縣在任時代に親交があつたところから招聘されたもので"私が入江です、どうぞ宜しく"と切出す氏は會つて見るまことに肌ざはりのいゝ瀟洒たる紳士だ、年齡三十六、抱負を聞くと

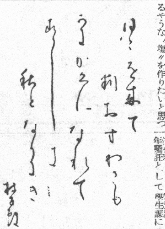
母校へ歸つて來たことは我家へ歸つたやうなものです、大學はよくその機能を發揮出來るやうに大學の心臟部に働く者として豫算その他に十全の努力を拂ひたいと思つてゐます、不正などに起つてかりそめにも大學の權威を傷けるやうなことがあつてはならないと思ひます

と謙讓な態度で語つた(寫眞は入江課長)

歌人庶務課長

山本俊雄學士

儕輩をぬいて一躍庶務課長の椅子についた山本俊雄氏は八高を經て昭和四年本學法學部を卒業、その年囑託として學生課に入り、學生主事補となり、卒業生の就職の斡旋やら外國留學生の面倒をみて來た官僚臭のない剛直の士であるが、歌人としてのやさしき一面を具へ、八高時代から故石井直三郎氏に師事し「水甕」同人として風格ある吟詠をしば〳〵本紙にも發表してゐる、記者が訪ねると、机上の色紙にさらさらと一首の歌をしたゝめて感想に代へた(寫眞は山本庶務課長)



日々を來て判おすわざもかにかくになれてすゞしき秋となりにき(杵子郎)

名譽教授二氏

前總長松井元興博士および元工學部教授渡邊俊雄博士に對し勅旨を以て名譽教授の名稱を授けられた

CORONA STANDARD
劃期的ノ新機構! 小型輕快ノ ポータブル 而カモ機能ハ 大型事務用機ニ匹敵
英、佛、獨、露、各國語、數、化、工學用等 凡て完備
東京銀座 黑澤商店 電話銀座1638
京都寺町 文適堂 電話上1004

最新刊
近代歌謠の研究
藤田徳太郎著
菊判五〇〇頁・原色・凸版・寫眞百餘　定價 拾貳圓　送料 三十三錢
「近代歌謠の研究」は著者十數年の研究の集積である。そもそも、文藝、音樂、舞踊等、多くの藝術の母胎は歌謠にある。それは、これらの藝術を學ぶ人に、是非歌謠についても知らなければならぬ。しかして、我が國の歌謠は、近世に至り、爛熟の域に達し、百花繚亂の觀を呈した。此の多種多樣の近世の歌謠について知らうと欲する人は、須く本書を繙く事をお勸めする。そこには、未だ知られなかつた近世歌謠の種々相が、展開せられてゐる。まことに本書は、我が國の歌謠を、學術的に研究した最初の書である。しかも、色とりどりの豐富な挿繪と、多數揭載せられた歌謠とは、讀者の眼を樂しまし、多大の興趣を覺えさせる事であらう。本書の內容は國文學、音樂、舞踊、民俗學、社會學その他の多方面にわたつてゐる。新秋の候机邊に本書を置かれるのは、讀者子の特權である。挿入の色刷寫眞は、極彩色刷を含んで三十六面、百個以上の挿入カットと共に、絢爛眼を奪ふものがある。裝幀又豪華で、公刊部數僅かに三百部、一々番號が打つてある。わが國の文化に關心を有する有識者が、本書によつて書架を飾られる事を希望したい。

最新刊
名曲詳解
田邊尚雄著
四六判三九〇頁・樂譜凸版六十餘　定價 貳圓八拾錢　送料 十五錢
今日ほど音樂が知識層に普及されたことはない。ところが、何たる皮肉ぞ！相當の家の前を通り、そこから、流行歌や下らぬジャズのレコードを聞き、思はず顏の赧くなることが往々ある。あゝ、悲しい哉日本では、未だ〳〵その域を脱せぬ。それは何故か洋樂の面白味と、名曲の持つ魅力が解せられぬからだ。勿論、名曲解說は從來多くの書が出てゐるが、本書はそれらと選を異にし、從來の名曲は勿論、最近のレコードをも漁り、それを極めて立體的に、和聲を解剖的に懇切に詳解し、出來るだけ歌詞(原語)を附して、痒い處へ手のとゞく親切さである。レコード、ラヂオ放送は勿論、音樂會に紹介される名曲は殆んど網羅されてゐる洋樂ファンの座右に必置の書であらう。

最新刊
歌かたり
佐佐木信綱著
四六判三三〇頁・淸楚和紙裝　定價 貳圓　送料 十五錢
萬葉と和歌の研究に、ひたすらその全生涯を打ち込み、輝かしい初代の文化勲章受領者となつた博士の、この喜びを記念するための書だ。歌について、又、歌人について、縱橫に筆を驅駛してゐる。歌道に志すもの、志しつゝあるものにとつては、恐らくこれ以上の書はないであらう。その派閥を超越した巨人の、この懇切、丁寧な、そして興趣深き書は、輝く文化章拜受記念の恰好の書だ。

筆のまに〳〵
佐佐木信綱・佐佐木雪子共著
四六判・四〇〇頁　定價 壹圓八拾錢　送料 十五錢
恰も夫婦の巡禮のやうな淸朗い心持ちで、前半を博士が、後半を夫人雪子女史が、五十年の長い間、筆のまに〳〵書かれた珠玉のやうな隨筆集だ。かの梁川星巖が、夫人紅蘭と相携へて文苑に遊び雅名一世に高かつた面影を偲ばしめる。初版品切れの處、再版愈よ出來。

最新刊
人生私語
前田晁著
四六判・三三〇頁　定價 貳圓　送料 十五錢
恩地孝四郎裝幀
片岡鐵兵氏や吉屋信子氏——その他多數の文人が生んだ、當時の文壇登龍門だつた「文章世界」の主事として、隨筆の選者として、多くの文壇人を育てた著者の隨筆集である。云はば模範隨筆である。長い文壇生活を、常に人生に對して眞面目に物を觀、省察して來たもので、流石に懷しみの深い文字許りである。傾日隨筆の世に多きを微苦笑觀してゐた著者が、[illegible]たえず世に問ふたのが本書である。秋夜の好伴侶であらう。

釋瓢齋著　俗人語錄
橋田邦彥著　自然と人
西川義方著　澄心記
清野謙次著　踏まぬ影

人文書院
京都市河原町二條下ル　振替大阪八三〇六番

國際政治から觀た…
日支の抗爭
五版出來
最新刊
立命館大學教授　田中直吉著
北支事變は支那事變に發展し、日支抗爭は今や全面的衝突の段階に入つた。支那は長期作戰を以つて如何に日本と戰ふか。英米は果して日支事變に干涉するか。ソ聯は如何に支那を援助するか、日支抗爭から世界戰爭へ？ 日ソの危機は何時爆發する？
大朝カクテール評
重要目錄……
第一　北支事變と國際關係—北支事變はなぜ起つたか、列國はどう動くか—
第二　北支の權益・資源・貿易—北支は何故に日本にとつて必要か—
第三　支那の統一過程と國共合作
第四　支那に於ける政治的勢力の分析—今日の支那を動かすものは誰れか—
第五　抗日民族運動の進展—抗日運動はなぜ起るか—
第六　支那の軍備と國防經濟—支那は日本と戰ひ得るか—
第七　支那の作戰計畫と戰時財政—支那は如何に日本と戰ふか—
第八　危機を孕む日滿ソ關係—日ソの危機は爆發するか—
第九　北支に於ける國際的對立—英・米・ソは日本の行動に干涉するか—
第十　支那をめぐる列強の爭覇戰—列國は如何なる權益を有するか—
第十一　日支の抗爭と世界の動向—日支戰爭は世界戰爭にまで發展するか—

新刊
國際問題研究
立命館大學教授　田中・大淵・高橋著
(第一輯)價一・三〇　(第二輯)價一・五〇
世界は今や戰爭か平和かの岐路に立つてゐる。世界の輿論は平和を欲してゐるが、國際的對立は愈々尖銳化し、軍備擴張競爭は愈々白熱化してゐる。極東に於いては支那を繞る列強間の對立と矛盾が激化し、歐洲に於いてはスペイン動亂を契機として既に戰爭が始まつてゐる。この歐洲の危機と極東の不安に對應して、アメリカ大陸に於いては新なる準備工作が進行してゐる。而して斯くの如き國際情勢の裡にあつて、日本外交は何處に行かんとするか。

新刊
刑事法判例批評【第一卷】
瀧川幸辰著
菊判四三〇頁　定價三圓八十錢　送料十四錢　クロース裝函入
刑事判例研究は最近漸く盛んになつて來たが本書の著者の如く自家の體系理論を背景として、純學理的立場から獨自の見識を以て批判を試み意見を附してる者は蓋し稀である。此の種の群書中に在つて本書の占むる地位を確信し、斯法の研究者學者國家試驗を志す人々等には勿論法學一般の研究にたづさはる人の好指針書として敢て薦む。

新刊
シュパン社會經濟學說體系
拓殖大學教授　阿部源一著
菊判三八〇頁　定價二圓五十錢　送料十四錢
[illegible]

發行所
立命館出版部
京都市廣小路寺町　振替大阪二六九四四番

秋のアートセール
店內商品全部
大特價提供
(於本店)

京大共濟部指定
京大病院和進會指定
大黑屋洋服店
電話上六六二一番・振替京都五六〇一番

本店　百萬遍電停北
南店　東一條電停西

法學時評

轉換期に立つ　公法・政治學の行方

黒田覺

一

表題にそぐわないかも知れないが、公法學政治學等の領域に於ける問題だけを取りあげてみたい。これ等の領域內に於ても、文獻解題的または論文短評式のやりかたを避けたいと思ふ一はこの小文によつて、これ等の領域の全範圍にわたることが不可能である事と、今一つは論文短評式のやり方が、學術的論文の批判の仕方として適切かどうかに就て、かねがね疑惑をもつてゐるからである。論文短評は、概むね無責任の放言に落入りやすく、批判の對象である著書、論文を下手に漫畫化して仕舞ふ恐れがある、餘程の名手でない限り、だから論文短評は、むつかしい。それ程の自信が私にはないのである。私の或る學說を發表する以前から、私の學說を批判してくれた學者もあつたが、さういふ建設的な批評の仕方も、實はまた試みる非凡の能力をもち合はしてはゐないのである。これは前置きだが、これもまた一つの法學時評であらうか

二

現在の公法學政治學は、一つの轉換期を經過しつゝある。それは種々の仕方で現はれてゐるが、その一は方法論的方面に於て見出される從來我國に於て支配的であつた新カント學派的方法の後退がそれである。それに代るべき方法としては、現象學的方法、知識社會學的方法その他種々のものが稱へられてゐる。現象學的方法は新カント學派的方法の陷入り易い對象の孤立化をふせいだ。各種の對象相互の構造的聯關性を明らかにしたのは、現象學的方法の功績である。これが新カント學派的方法以前の素朴性への復歸を意味しないことも明らかである。尾高教授の「國家構造論」は、この傾向の一つとして、高く評價せらるべきものであらう。知識社會學的方法は、學問とそれを成立せしめる社會的地盤との聯關を明らかにした。「思惟の存在拘束性」の正當な認識は、益々必要である

三

公法學政治學の最近の變化に、政治の動きが決定的な影響を與へてゐるかに見えるのも、最近の特徴の一つである。これは憲法學の領域に於て、特に著しい。これをどう見るかは、重要である。佐々木博士が「政治の動きと憲法」（公法雜誌）の問題を、取りあげて居られるのは、敬意を表したい。茲には先生の論述自體にはふれない

社會狀勢の變化が、學問に變動を生ぜしめるのは、必然であるけだし、社會狀勢の變化に伴つて、學問的對象が從來の思惟方法では全面的に把握され得ない場合が多く生じるからである。憲法學の場合には、その變動が直接に政治的强壓の下に發生したから、問題を生じるのであるが、これがなかつたとしても、憲法學は變化すべき運命にあつたと云ひ得るだらう。けだし、日本憲法學の基礎理論を提供してゐた一九世紀の獨逸の國法學が、著しく、既に學問的機能を喪失してをり、憲法の全面的把握のための、新しい方法が必須的だつたからである。勿論最近の憲法學が、かやうな要求を充たしてゐるか、また學問性を維持してゐるかは、別に批判せらるべきものである。學問性の問題に就ては、一般的に云つて變動期の新らしい思惟方法・概念は多少抗議的な意味をもつて居り、安定期にいたつて、その抗議的意味を失ふものである、この意味では「學問の政治性」は變動期に於ては幾分避けがたい所である。「學問の政治化」の問題は、だからむしろ、學者の個人心理的動機・態度や、その客觀的認識の意思的な歪曲の中に、存すると云へよう

四

憲法學が、どう變つたか。問題の重點が、日本憲法の特殊的性格の解明と云ふ點にむけられてゐるのは當然である。問題は、如何なる點に特殊的性格を認めるかと云ふことと、も一つは、如何なる方法で特殊的性格を解明するかと云ふことゝの二つであり、この後の問題がより重要な意味をもつてゐる。日本憲法の特殊性を、何等の一般性によつて裏づけない個別性としてとらへる方法には、賛同できない。一定の鑄型に日本憲法をはめ込んで、その特殊性を單に個々の條文の枝葉的な解釋にのみ求めようとした從來の憲法學に往々見られた傾向には同意できないが、その反對に、その特殊性を一般性から全然遊離して仕舞ふやうな、最近の或る種の傾向にもあきたらないものが、あるなかには憲法學上の個々の言葉の意義を漢語辭典や古文書の中に求めて、それによつて日本憲法の特殊性を示さうとするやうな方法も存するが、それこそ「木によつて魚を求める」ものであらう

司法の政治性について

末川博

「裁判權が立法權及び執行權から分離してゐなければ、これまた自由は存しない。もし裁判權が立法權と結合すれば、市民の生命及び自由に對する權力が恣意的となるであらう。なぜなら裁判官が立法者となる譯だから。もし裁判權が執行權に結合されゝば、裁判官は壓制者の力を有ち得よう」三權分立論を確立したモンテスキューは英國憲法について、その「法の精神」において斯う述べてゐる（宮澤氏譯法の精神上卷二二八頁）。そしてまた、「人間の間でしかく恐るべき裁判權は、一定の等族にもまた一定の職業にも屬せしめられることなき故、それはいはゞ人目に見えず、無となる」ともそこで說いてゐる。

裁判權はいはゞ無である。モンテスキューが斯ういつたことの意味は甚だしく曖昧であるが、この言葉の傳へる餘韻にはじようじようたるものが殘つてゐる。いはゞ無であるは、今日よくいふ白紙の意でもあり、また動くものを靜かに映す明鏡の義でもあるやうに思はれる。それ自身何ものにも動かされることのない司法權の獨立と司法の第三者性とを理念として表現するものともいひ得るであらう。

だが、無は同時にまた有を前提する。況んやそれが制度として存するとき、無なるものは有なるものをその內容に盛る形式としての無であるほかはない。そこに有無の境を劃することの不能なるは言をまたぬ。更に況んや裁判は法の適用に關し司法權は國家權力の發動としてのそれであるにおいておやである。

そこで、司法の政治的性格といふやうなことが問題となる。

國家の理念乃至は法律の理念なるものは、現行の法律と相關聯すべきものである。法律の解釋運用を職能とする司法が、その政治性を自覺して、その萬全を期するならば、立法によつて營まるべきその政治性が司法において營まれることになるであらうし、さうしてそこに司法と立法との一元化的現象を觀取されることにもなるであらうが、新立法が從來の判例の成果をアレンヂするものにすぎないといふ社會學的事實を回想すれば國家の三作用が如何に夫々の政治性を自覺して行かねばならないかを痛感させられるのである。社會は進展する。此の進展する社會にあつて、化石化の非難から免れ眞によく法律的安定作用を期待せんとする裁判は、實に、この政治性を發揮するところに見出されるのである。」ことしの六月號中央公論で尾後貫判事はその論文「司法の政治的性格」を結ぶに、斯ういつてをられる。そして立法府も行政府もまた司法府も國家の政治目的を理解し之を遵奉してその行動を計劃し決定せねばならぬ、といふのが、その主張の基調をなす立足點であるやうだ。

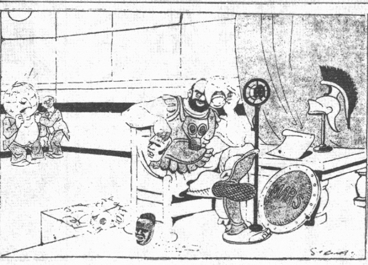
人の共同生活に關する制度的な存在は、必然に何等かの意味において政治的性格をになはざるを得ないことはいふまでもない。そしてそれらが個々に或は能動的であるかのやうに見えても、あらゆる制度は交互に作用を及ぼしあつてゐるのであつて、一見自己發展的に思はれるものも實質においては獨自性を主張し得るものではない即ちそれらは、窮極においてはどこまでも自己を遂行してやまぬところの或歷史の必然に副はされてゐるのだが、その必然の有つ性格を人は廣い意味で政治的性格と呼ぶのである。

斯くて、意識すると意識せざるとに拘らず、司法の政治的性格は司法に內在する。そして斯かる性格は、司法が法律の適用といふ實踐をその使命とするものであつてしかも適用せらるべき法律は立法の成果であることを思へば、最も顯著に政治的性格を現はす立法との交互作用において當然に與へられてゐるといはねばならぬ。

だが、司法が政治的性格を有するといふことは、直ちに司法が政治的にはたらくべきだといふ行動上の要請を意味するものではない即ち司法は、それが政治性を有するの故に、立法や行政と同じやうに政治的に作用すべきだといふことにはならぬ。少くとも、司法が立法や行政とはちがつた任務即ち法の適用といふ任務を帶びてゐるとする制度の存する限りにおいては、司法自らが政治的に行動することは許されぬであらう。この點においては、三宅判事が法律時報第八卷第十號で「司法の行政化をなげく」といふ論文中に「法律の忠實な使徒、之が憲法の認める裁判官の純粹な型であるのだ」といひ、更に「非常時には力が支配し易い。力に對するものは法である非常時に於て力に抗し法を護るには異常な工作と氣魄がいる。退讓的な妥協的な法の運用になれてゐると非常時局の力に壓倒されてしまふ」といつてをられるのは、その個々の表現においては別に論ずべきものが殘るけれども、趣旨においては司法の本義に適ふものといひ得る。

司法の政治性は立法を通して注入されるのが今日の制度の建前である。だから、司法自らが政治的にはたらくといふことは、制度の要求するところではない。しかし今日のやうに歷史の動きの急激な時には、立法における政治性の目ざましい活躍の故に、必然に司法に內在する政治性の變動も大きくなる。それがおのづから司法そのものゝ作用に發現し來たるのは見易い理である。

モンテスキューがいつたやうに裁判權はいはゞ無である。それが無であるために、無限の有を容れ得る。司法の政治化がなげかるべきならば、まさにその盛らるべき有のそれでなければならぬ。盛られる內容のいかんはやがてこれを盛る形式の運命を左右する。そこに、司法の從つてきた法律の更にまた傳統的な法律學の今後の本質的な問題が潛む。否、すでに法律學徒の前にはこの眞劍な問題が提供されてゐるのである（九・一一）



プログラムの變更

デイリー・エクスプレス紙から

歷史上より觀たる　「北支那人」

外山軍治

我々に親しみのある「南船北馬」の語が示す樣に、支那は地勢風物の異つた南支北支に區別ができる。歷史上より觀て、南北の區別は淮水、漢水の線を以てするのが最もよく、南支那は湖北、湖南、浙江、江西、福建、廣東諸省の地と、安徽、江蘇二省の南大部分に當り、北支那は河北、山西、山東、河南、陝西、甘肅等の地を指す。現今北支といへば河北、察哈爾、山東、山西、綏遠の五省を擧げ、又南京、上海（江蘇）方面を中支といひ、廣東、福建地方を南支と呼んでゐる向が多いが、これは以上の區別とは夫々異つた立場よりなされたものである。南支と北支とでは地勢、氣候、風俗、人情其他百般に亘つて著しい差違が認められるが、こゝに取上げようとするのは政治的經驗より來たる南北支那人の氣風の差違に關する問題である。

……×……

支那は古來北狄或は東胡と謂はれる北方民族の侵寇に惱まされた西暦四世紀初、匈奴、羯、鮮卑、氐、羌の五胡が北支に侵入して交交國家を形成した所謂五胡十六國以來の歷史を通觀すると、北支那はこの千六百年間に隋唐の三百二三十年と北宋の百六十年及び明の二百八十年とを除き其餘の八百幾十年は北方民族の治下に在つた。北支那の內でも、河北、山西の北半、所謂燕（北平附近）雲（大同附近）諸州は今一層長い間外民族の支配を受けた。北支那は漢族の支配を受けた期間よりも、外民族の治下に在つた期間の方が長いといふと、一寸奇妙な感がするかも知れないが事實はさうである。北方民族は先づ北支那に侵入し、これを占領する。異民族の治下に在るを潔しとせぬ敵愾心の强い漢族は南支那に移住するを常とした。南支那は實にこれら漢族の手によつて開發せられて今日に到つたものである。南支那が北方異民族の支配を受けたのは、五胡以來元（蒙古）清（滿洲）の二朝を併せて僅かに三百五十年に過ぎぬ。かうした政治的經驗が南北支那人の外民族に對する感情を左右し、南支那人が飽くまでも攘夷保種の念が强く、特に北方よりの外勢力に對しては殊更に敏感であるに反し北支那人の外民族に對する感情は甚だ妥協的、依賴的である。北支那人の中でも殊に北平地方の支那人即ち燕人には一層この傾向が强い。

……×……

例を北方民族の活躍が一きはめざましくなつた遼（契丹、蒙古、滿洲の混合種）之に代つた金（女眞、滿洲）の時代にとれば、遼や金が北支那に勢力を伸ばすと、燕人は逸早くその朝廷に仕へて朝權に參畫し、國家組織の完成に盡力し、遼、金が北支那に侵入するに當つては中原の險易を具陳して侵略の案內をなしたといふ事實は枚擧に遑がない。遼に代つて滿洲より北支那に入つた金が、宋との約束に從つて燕京（北平）附近の地を宋に讓與しようとした時、金に降つた燕人左企弓は、地を宋に與へず金に於て之を領有することが得策であることを金帝に力說してゐるが、これなども燕人が同族の國たる宋につかず、異民族の金朝の爲めに圖つた實例で、かうしたことは極く普通なのである。支那人は之を漢奸といつてその行爲を憎むが、しかしかうすることが燕人の定石であり、かうしなければ自己の生命財產が危い。由來支那人には、支那人が全體となつて、自己の利害を犧牲に供してまでも守るべき何物をも有しない。彼等の守るべき最も大切なものは自己の地位財產にほかならぬ。故に自己の生命財產の安全が保證せられ、安易な生活を營むことが容されるならば、その主權が異民族であらうと何であらうと構はない。生活の低度な北方民族の治下に在れば法令も簡單で租稅も廉いといふ安易さがある。漢人の治下に入るとその地が北族との接壤地であるために、北方防備の根據地策源地となる關係上却つて人民は賦歛徵發等に苦しまなければならない。金より宋の治下に移された燕人は、僅か二年半足らずの期間においてこの苦惱を十二分に味はされた。宋人は文章の上では、燕雲の民は中國の民、豈夷狄の手より救はざるべけんやなどゝ立派なことを書いてゐるが、いざとなると苛斂搾取に躊躇しなかつたから、燕人が彼等と同族であるといふだけの宋の治下に在るを好まず、異民族たる金の司配に甘じたのも無理はない。

……×……

一般人民はそれでもよいが、體面を重んずべき士紳は如何であるかといふに、官途に就いて榮達するを唯一の生活目標とする彼等にとつては、たとへ大臣宰相たるは望み得なくとも、事實容易に指導的地位に立つて自由にその才幹を振ひ得る北族の朝廷はむしろ歡迎すべきものであつたと見える。又自己の地位財產を守ることにかけては士紳も一般人民とかはりがない。故に燕地の士人は今まで戴いてゐた政府の權威が衰へると直ちに自治團體を作つて次に起るべき勢力に依賴するを常とする。遼の末に天祚帝が金の攻擊を恐れて燕京を出て山西邊外に逃れた後では燕人李處溫は宗室の耶律淳を立てて帝と稱せしめて一方を保有してゐるが、宋將童貫に通ぜんとあせつてをり、淳の死後立つた後の蕭氏は宋金二國の間に首鼠兩端を持してその何れの勢力にも結託せんとの心構を示してゐる。かうした場合必ず次の政權と結んで自己の羽翼を張らんとして暗躍する者がある。燕人はかうして北族の攻略を免れ、却つて之を利用して巧みに立廻つた。金の世宗は夙にこの燕人氣質を看破して燕人には古より忠直なる者すくなし遼兵至れば則ち遼に從ひ、宋人至れば宋に從ひ、本朝至れば本朝に從ふ。其の俗詭隨、自ら來るところあり、屢屢遷變を經るも未だ嘗て殘破せざる者は凡そここを以てなりといつてゐる。

……×……

かゝる傾向を有する北支人殊に燕人は遼金以來元、淸の代を經て現今に及んだ。北支那人のこの氣質は今一層根强いものとなつてゐないとは誰が保し得よう。

今回華北自治會、察南自治政府等の出現が報道せられてゐるが、北支を北支人の天下にせんとの運動は、從來とは異つて、飽くまでも純なものでなければならない。彼等自治體首腦者にして些かも不純なる行動を爲さんか、その前途や憂ふべしである。我々はかゝる點に注目してその成長を見守らなければならぬ。

田中直吉氏著　「國際政治より觀た日支の抗爭」

西本勇

日支事變の波に乘じた群書の中で本書は非迎合的科學的な支那問題の解說書と銘打つてゐる本書の內容は先づ第一に「支那の政治的經濟的分析」であつて、從來論壇において論爭された諸成果が手際よくまとめられて居る。

そして抗日運動と國共合作の考察は「支那の作戰計畫と戰時財政」なる優れた一章となつて實を結んでゐる。こゝでは支那の所謂「長期抵抗戰による最後の勝利」が、現在の蔣介石政權の財政を以てしては如何に困難であるかといふことと「民族戰線國防政府」が國民政府崩壞の後に出現するであらうことを指摘してゐる。

第二に本書は到る處で日本の大陸政策について次の二つの點が指摘されてゐる。即ち日本の北支進出の重點が、輸出品（その一部は中小資本家によつて生產される）の擁護にあるのではなく、巨大資本による原料獲得にあること、國民大衆の生活が、このインフレ發展の必然性の前に犧牲に供されることの警告が之である。

第三は日支事變の國際政治的考察である。こゝでは世界における各國の利害の交錯が明快に述べられて居り、第二次世界大戰の危機が奈邊に存在するかを剔抉して剩す處がない。だがこのことは日支事變が直ちに世界大戰に轉するといふ意味でないことは勿論である何故ならば、日本の大陸政策は英米資本主義に對する攻擊に重點があるのではなく、彼等との衝突を出來るだけさけて半植民地支那にだけ局限しようと努めるものだからである。吾々は本書により日本の大陸政策に最も頑强に反對するものが同じ黃色人種の支那であり英米が好意的ではないにしても日本との衝突をさけようとする眞相を知ることが出來る（立命館出版部・一圓五十錢）

古本高價買入
進文堂書店
京都市丸太町川端東
（電上二三八二番）
學術專門書歐文書
全集物は何んでも
進文堂へ!!

衞生百貨の御用命は
新裝完成の
東山藥局へ
京都市左京區東山線丸太町南
（熊野神社停留所前）
電話上三一四〇番

喫茶と食事
感じよき味のデパート
農大グラウンド裏
ホワイト・ハウス
高原通高原湯隣

小山齒科醫院
東京齒科醫學士　小山正光
市電百萬遍電停西（電車通北側）
電話上五八二五番

京大共濟部指定
杉浦洋家具製作所
本店　萬里小路東一條下ル
支店　京大正門前三高東側下ル

大京都在住學生諸君に申上げます！
日本映畫興行界に響く覺醒の萬鐘
都會生活の重大條件たる時間的經濟的衞生的の三大問題を見事に解決した新興行
美谷座の壯擧

國を擧げての非常時に皆樣への「心の慰問袋」とも云ふ可き映畫のもつ使命は益々重大性を加へつゝある今日、當美谷座も敢然と興行の戰時體制を布くことになりました。
それは進み行く時代の波に逆行した長時間興行で貴重な時間を無意味に費やし、時間的にも、物質的にも、實に不經濟であり保健上にも有害と認められてゐた長時間興行を斷乎廢止し、健康的で時間的にも金錢的にも實に經濟なあらゆるニユース映畫と優秀映畫封切革新興行を敢行することになりました
全館 二〇セン　小人一〇セン均一開放
即ち、これに依つて皆樣の從來の興行法に抱いて居られた御不滿は一切解消致しました。
◇お好きな映畫を御覽になるため、見たくないものを見る必要がなくなりました。
◇三時間四時間も常設館にお費になる必要がなくなりました
◇短時間で全部の番組が御覽になれますから御外出のお序でにでも又夜間最後の九時からでも全部御覽になれますから御散歩のお樂しみに一寸御覽になれます。
◇新興の傑作優秀映畫の封切と各社のニユースと事變時報ニユースは他館より早く上映致しますから娛樂と新知識と戰況を一擧に得られる事になります。
◇場內では刻々のニユースをラヂオや新聞號外より早く場內放送に依つてお知らせいたします
◇發表後の革新興行は大變な人氣を戴いて居ります。
そして此の興行こそ近代人であり勉學の皆樣にはこよなき慰安にもなるだらうと思ひます。
十五日より
ニユース映畫と膺懲の聖戰と磐石の皇軍と肉彈記者を封切致します
是非學生諸君の美谷座として御來座下さるのをお待ちして居ります。

就職寫眞は
四枚一圓
オカモトへ
京大共濟部指定
就職受驗寫眞
フイルム現像.燒付
大學風景寫眞
農學部前
岡本寫眞場
電上2742

健康ト味覺ノ冴ヘル新秋ノ
御宴會ニハ
謝恩會・縣人會・歡送迎會其他諸種御宴會
出張宴會等ニハ特別ノ御相談ニ應ジマス
1階　大衆食堂・喫茶（ノーチツプ）
2階　小間（定食・グリル）
3階　宴會場（社交室）
4階　大宴會場（定食・グリル）
5階　酒場・グリル（女給）
御定食 ¥1.50 ¥2.00 ¥2.50
矢尾政經營
東一條電停前
獨逸文化研究所內
D.B.K.食堂
ランチ ¥.30 外一品料理
Restaurant
Yaomasa
四條大橋西詰
電本 1147 1148 1149

本格的シーズン突撃を敢行する松竹座の第一回宣言！
秋シーズンとは云ひ乍らこの非常時、而も滔々たる時局の波に乘つて徒らに全體戰を叫び戰時體制に阿ね羊頭狗肉を賣るもの如何に多きことか！こゝに於いて阿世曲學を驅逐し、映畫藝術のため文化向上のため更に諸賢の生活の淸新溌剌たる新しき糧のため、松竹座は敢然として洋畫の傑作名畫を自由選擇し時に於いて革新的一本立、また幾多の犧牲を顧慮しても堂々大作二篇揃立番組を決行する！まづ第一回アナウンスメントをこゝに發表、諸賢の待望にこたへる次第である。
九月十五日より廿一日まで
銀盤の女王
オリムピツク女子スケート選手權保持者
ソニヤ・ヘニイ主演
シドニイ・ランフイールド監督
廿世紀フオツクス超特作
勝鬨（かちどき）
「ロスチヤイルド」を凌駕するザナツクの野心作
タイロン・パワー　マデリン・キヤロル主演
廿世紀フオツクス映畫
九月第四週廿二日より
椿姬
叡智と神秘に輝く秋のをんな・理智と情熱に生きる
グレタ・ガルボ
世紀の美男
ロバート・テイラー
主演の
ジョージ・キユーカー監督
メトロ秋五大作品の一
十月第一週卅日より
歷史は夜作られる
シヤルル・ボワイエ　ジーン・アーサー
最初の顏合せ
フランク・ボザージ監督
白鳥の舞ひ
ウイリイ・フリツチユ　リリアン・ハアヴエイ
獨乙ウフア超特作
支那事變ニユース
は松竹座の文化的使命の爲めつねに最新報を上映
松竹座

祝新築落成
合名會社　津田甚組施工
（竣工せる理學部物理學敎室研究室）

京都市左京區岡崎成勝寺町
電話上（3）六三五番

建築職方

大工	手傳	土工	石工	鐵筋 同加工	タイル	同上 煉瓦	煉瓦	防水	アスフアルト、モルタル フローリング、ブロツク	錺工	鐵物
伊藤常次郎	野登與組	中川助次郎	長谷川萬吉	大藪（鋼材商事）株式會社	平田商店	鈴木利四郎	京近煉瓦株式會社	佐久間工業株式會社	キング木工合名會社	中田丈商店	內山善吉商店

建築職方

スチール サツシユ ドア	ガラス	左官	木材	裝飾	給水 瓦斯	木建具	同金物	砥工	塗板	塗師
榮進社大阪店	ヤマダイ商店	宮本善一	杉原製材店	川瀬敷物店	城口研究所	築紫宗次郎	河原商店	小門前嚴	久保重次	野崎勝治

思ひは遠く故國へ

書信も送金も絶えて 尚踏み止まる者八名

中國留學生の大半は 暑休で歸つたまゝ……

樂しい夏休みをハリキツタ夢をいだいて父母います國へはるばる歸つて行つた本學在學中國留學生諸君の身の上に不幸、紫電一閃、七月七日夜盧溝橋の闇をつんざいて銃聲一發、東亞の天地に戰雲みなぎり、再び笈を負ふて懷しき京洛の地に歸れなくならうとはつゆ知らなかつたであらう、一つ机に並んだ我等の學友は最早相見える見透しさへつかぬ、休暇明けてふだんなら學友と長い休み中の樂しいみやげ話しに華を咲かせてゐるだらう季節になつても學內に彼等の姿が殆んど見られぬ、休暇中も學園にふみ留つた者は僅かに八名、この人々はどんなことがあつても研學の初志を貫かうと悲壯な覺悟を定めてゐる、彼らの多くは上海方面の出身なので、歸國するにも香港經由でなければならず、戰禍の上海からは懷しい書信の往復も杜絶し、生きてゐるのか死んで了つたのか家族の安否さへさだかならぬ不安と焦慮の中に置かれてゐるのだ、しかも最早や外務省支給生の外は政府の補助も家からの送金もなく全く困却の淵に沈んでゐる現狀なので、本學でも出來得るかぎり研學の目的を貫徹せしむべく目下夫れ〲對策を講究中である。

應召學生には授業料を減免

應召者の子弟も同樣 該當者は學生課へ

今次の事變による應召軍人の子弟たる學生生徒の授業料の減免その他學業の繼續については目下學生課にて種々考慮中であるが、もし學生生徒の父兄等一般學費給與者にして應召せしものゝ子弟は必ず一應學生課まで屆出でられたいと、なほ學生にして應召されたるものは休學としては取扱はず、若し短期間にて歸還することある者は學部の事情を斟酌の上、希望によつて一般學生と對等に受驗せしめ、應召期間中の授業料は勿論免除する方針であり、但し中途で歸學せしものは月割の方法で授業料を徵收するが、受驗し得られない長期に涉る場合は應召に伴ふ休學の經過、日時即ち延長期間は授業料を免除する豫定で目下學生課において夫れ〲對策を立案中である

有信會 京都クラブ生る

法學部卒業生の間に

本學法學部にはその關係者の團體として有信會があり、四年目に一回づつ大會を開く外在學會員では定期的に旅行や見學を行つてゐるが、今日まで地元京都には在學生を除く在住會員七百名に垂んとしてゐるにも拘らず、何ら會員の親睦を圖る組織がないのを遺憾とし今度辯護士小島米吉、同西村五郎、同前田覺千代、三和銀行京都支店長渡邊明造、大阪地方裁判所判事山田卯三郎、日出新聞社長後川晴之助氏等數十氏が發起人となつて現有信會とは別個に有信會京都俱樂部を組成することになつた、さうして年二回懇親會を催す外適當の事業を行ふ筈であるが、法學部卒業生の有力團體として今後の發展を注目されてゐる

明春の就職戰線

學期あけと共に どつと申込み殺到

時局が反映する人材の動員

例年より早く五月六月ごろからボツ〱申込みがあり〃今年は幸先よいぞ〃と一同を喜ばせてゐたが、日支事變の擴大と共に推移する時局の變轉は明春の就職戰線にどう反映するか、暑休の七月、八月から九月にかけて申込一時に殺到、各學部とも新學期早々これが取扱ひに忙しく學部事務室學生課では喜色滿面の態ある、例年卒業生の三倍、四倍からの申込みがあり、教室によつては五月、六月にすでに全部が豫約ずみのところさへある、理、工、醫、各學部は論外として問題の法經兩學部について見ても

朝鮮殖産銀行、三井銀行、天滿織物、倉敷紡績、日本郵船、第一銀行、東京海上火災、共同信託、朝鮮銀行、三菱重工業、大同學院、日本曹達、日產自動車、湯淺蓄電池、東洋紡績、日本徵兵、明治製糖、川崎汽船、日本海上、日本興業銀行、臺灣銀行、旭硝子、日本勸業銀行、滿洲興行銀行、安田保善社、川崎造船所、東京ロール、三井鑛山、大同生命、紡機製造、東京橫濱電鐵、野村合名、同銀行、同港灣、同生命、同海外事業部、滿洲拓殖、滿洲中央銀行、出光商會、日立製作所、名古屋銀行、辰馬合資、十二銀行、住友諸會社大丸

等一流ところが殆と出揃つた形でなほ引續き申込みが殺到して非常な活氣を呈してゐる、明春就職戰の見透し等につき經濟學部長汐見三郎博士を訪ねると次の如く語つた

今年は目下の所では就職方面も中々活氣を呈してをり結構なことです、これはまづ第一に莫大な豫算による生產力の擴充によつて直接には產業會社、間接には金融會社に餘計に人材を要するやうになつたこと、第二には時勢の變轉目まぐるしいものがあり、在來の單に小手先ばかり器用な人よりも、社會の大勢に見透しをつけるだけの視野の大きな人が特に必要になつて來たので、單に專門實業學校卒業の人よりも大學出身の人がよくこの條件に適合してゐること、三には時局の進展と共に人材の動員を痛切に感じて來てゐること、四にはいゝ人物を早く求めたいといふ氣運が濃厚になつて來てゐるといふやうな諸點が原因してゐるやうに考へられます、季節は清澄の秋のシーズンに入り、それに時局の緊迫感は學生諸君の氣風をも緊張せしめてゐるやうで、從つて歸學も一般に例年よりも早いやうで、私の學部は今日（十三日）から講義を始めましたが、學生諸君の聽講もずつと多く、みんな引きしまつた感じが汲み取れ、何か今までとは異つた印象を受けました

寫眞は學生課の廊下で順番をまつ來春卒業生諸君

工學部の一角に赤シグナル

消費部面を分野とする兩教室にすぐ反映

法經文の各學部が例年就職戰線不安の渦中におかれてゐても工學部なら絕對心配無しとはこゝ數年來の合言葉にたつてゐたのであるが、その工學部にも明春の就職戰線に突如不安の赤シグナルがかゝげられ、久しく泰平の夢を貪つてゐた一部の學生を焦慮せしめる事態が愈々明確な形を以て現れて來た、同じ工學部でも從來主として生產部面にたづさはる採鑛冶金等の各教室では新學年早々から壓倒的な求人の申し込みを受けてゐることは既報の如くであるが、これに對し消費部面を主要なる就職分野とする土木工學、建築學の兩教室では早くから例の鐵鋼飢饉及びその附帶工事的諸材料の不足、暴騰で明春の就職狀況を懸念されてゐたのであるが、更に今次の事變を契機とする戰時體制への移行狀勢にある事態に直面して事業起債も殆んど不可能な狀態にあるので、覿面にその影響を受けて從來いち早く殺到して來た內務省、市役所その他諸會社の大口の申し込みは今年は例年の半分にも充たない現狀であり、關係者をして深く憂慮せしめてゐるが、何分にもこの學生はかの「一娘一人に婿八人」の好況時代の夢醒めやらず、片々たる小會社には見向きもしない氣風がしみこんでゐるので、目下各教室主任からそれ〲時局の認識と今次の就職分野の明確なる理解を得せしむべく對策を講究中である

映畫「フビライの都」

末永氏らの指導で完成

象牙の塔の奧深く最も迂遠な學問のように思はれてゐる考古學の本格的な映畫が今度本學考古學教室の指揮を得て、JOの文化映畫部によつて近く世に出ることになり斯界の注目を浴びてゐる、卽ち東亞考古學會では例の團匪賠償金を利用してさる六月本學の末永雅雄氏、東方文化研究所の水野清一氏並にJOのカメラマン河口和夫氏等一行は熱河方面へ發掘旅行を試み、この程數々の收穫を携へて歸洛したが、その中に同地方の記錄映畫數千メートルがあり、十四日から考古學教室にJO文化映畫部中野孝夫氏が出張、教室員の指導のもとに學問的良心による正確な編輯とタイトルを以て「フビライの都」と命名、遲くも十月中旬までに完成して世間に送り出されることにならう

後顧の憂ひ無し

勇んで應召す

☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今次の支那事變で本學からも多數應召者を出したが、これらの人々に對し不在中も俸給の全額を支給するほか家族の生活については十二分の考慮をはらひ、もし病氣の場合醫療の資に支へるものに對しては醫學部附屬醫院で無料診療をなすことに決定、目下その手續等を取りきめ中、またこれとは別個に全學の高等官からは俸給の百分の一、判任官以下からは二百分の一づつを醵出し、應召者一人につき金二十圓づつの餞別をおくつてゐる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆

肖像畫を贈呈

前總長松井博士の記念事業 目下資金を募集中

去る六月退官した本學前總長松井元興博士は「職を本學に奉じて三十二年、理學部助教授、教授、學部長に歷任して學術の教育と研鑽に精勵し、さらに總長の重責にあたりて學運の伸暢に盡瘁し、學界を裨補し國家社會に嘉惠せらるゝ所洵に大なるものあり」といふので今度各名譽教授、教授、總長、書記官が發起人となり、實行委員を擧げ、左記によりあまねく學の內外に寄附を仰ぎ、記念事業として先づ肖像畫二面を作り、一は本學に寄贈、一は松井博士に贈呈しなほ資金に殘餘あるときは實行委員に於て適宜有效に處分することになつてゐる

▼金額は……一人につき三圓

▼締切は……十二月末日

▼送先は……本學內松井前總長記念事業會（振替京都一〇一九一）

共濟部の內職狀況

防空演習の手傳等 こゝにも時局を反映

共濟部暑中休暇中の就職狀況をきくに休暇始めの七月は家庭教師十一名、製圖二名、筆耕五名、編輯一名、事務手傳五名、論文手傳一名、記錄係二名、留守番一名、水泳監督一名、球場整理二名、衞生掃除手傳九名、防空演習手傳四名、飜譯一名の計四五名で、さすがに時局向き、暑中休暇向きの內職が多く、八月は家庭教師四名、飜譯五名、留守番二名、筆耕一名で一般學生の居ない夏枯れ時を反映して就職狀況も夏枯れを示した、九月、十月と內職方面も最近の時局を反映するものが次第に多くなるだらうとは共濟部の見透しである

共濟部長更迭

澤井教授に依囑

學友會共濟部長として學生大衆の福利施設の完成に努力して來た工學部瀧山與教授は前項記事の如くめでたく還曆をむかへて退官したので、後任は工學部教授澤井八洲男氏に決定した

澤井部長は語る

澤井教授を訪ねると次の如く抱負を洩らした

共濟部は學生々活の安定に對して積極的に活動してゐる部である、現在やつてゐる學生食堂、學用品の販賣、貧困學生に對する學資の補給等の外今後適當な事業はどし〲實行したいと思つてゐます、創設以來約八年河田、黑正、瀧山の三部長を經て漸く今日ノルマルな狀態に入つて來たわけです、私自身も微力ながら出來るだけ學生諸君の福利のために盡したいと思つてゐます、現下の非常時局に伴つて學生の生活も益々苦しくなり、同時に國家も益々人材を要することが切實になつて來る、この際に當り學資の不充分な學生も才あるものは何とかして立派に就學の道を拓かねばならぬ部が一段の努力を要すること切なるものがあるわけです……

「總務新設」を中心に學友會改善の打合

十三日夜委員五君の會合

去る七月懸案の學友會改善調査委員會が設けられ、愈々改善の具體案が練られることとなつたが、その第一步として、十三日午後六時北白川島三で委員の打合せが行はれ會則改正草案につき協議したが、その中心をなすものは總務の新設である、內容は

學友會に總務長、總務次長、總務委員より成る總務を置き、總務長は教授中より、同次長は教授又は助教授中より會長が囑託し、任期は各四年、總務委員は各學部最高學年を除く正會員より各一名を選擧するが、代議員を兼任するを得ない、そして議案の役員會提出はすべて總務長を通じて行ひ、總務長、同次長、同委員、各部部長及び理事は、役員會に出席し發言し得ることとし

これにより學友會自治の精神を明確にせんとするものである、その他會務の囑託制、會計事務の明確化等についても意見を交換したが、それについては何等具體的な決定を見なかつた、なほ右につき一委員は次の如く語つた

今夜の集りは單なる打合せ會であり、會則草案も決定的なものでなく、一試案にすぎない、今後我々は、學生大衆の利益を最もよく生かす樣な立派な改善案を作るべく努力する、しかしそれに必要なものは學生一般の後援である、諸君は我々の意圖を正しく理解し、積極的に援助して貰ひたい

「日本地理學上の諸問題」

三高教授 藤田元春氏は二十日から約二十時間の豫定で講師として「日本地理學上の諸問題」と題して開講することになつた

教官辭令

助教授　長谷川万吉

任教授（二等七級）理學部勤務、地球物理學第四講座擔任を命ず

平田秀樹

任助教授（五等五級）理學部勤務

中澤與四郎

任助教授（六等十一級）醫學部勤務

（以上八月四日付）

農林技師　高月豐一

任助教授（三等三級）農學部勤務、農業工業第一講座擔任（十八日付）

助教授　羽村二喜男

任教授（二等七級）工學部勤務、電氣工學第一講座擔任を命ず

村田治郎

任教授（五等七級）工學部勤務、建築學第三講座擔任を命ず卅一日付

田邊朔郎博士 喜壽の祝ひ

先づ隨筆集刊行

元本學名譽教授工學博士田邊朔郎氏は今年十一月で七十七の喜壽に達するので博士の知友、門下生である工學部、瀧山、大井、平野の諸教授が中心となつて祝賀の「書畫展」等の記念事業を開催するが、その事業の一つとして博士の隨筆を集めた「石齊隨筆」を刊行した「私は工事に關係ある石片を蒐集愛玩し石齊と號して居ります、その質や形の良否ではなく、工事に關係があつて、各片々の閱見を物語りするを得る、是等の石の話を書き綴る……」と序にある如く專門の話は勿論多方面に涉つて老博士の面目を躍如たらしめてゐる

各眼科院御用
眼鏡專門 視力瞳
府立病院前南入
電話上六八六七

工學部長更迭

平野教授就任

工學部長濱部源次郎教授任期滿了につき九日で土木工學第四講座擔任の平野正雄博士が後任に補せられた

（寫眞は平野新工學部長）

ピ博士講演

十七日本學で

フランス政府から日本文化の研究を委囑され、目下來朝中の佛國ソルボンヌにあるオート・セエチュード學校長ピエール・コント・デュ・ノユイ博士は十五日入洛、十六日は大阪で日佛醫學會と阪大の共同主催の醫學講演會に出席、十七日午後三時半から本學醫學部病理學教室で「免疫における理化學的現象」と題し英語で講演する筈

呼吸器病科
京都保養院
下賀茂みどろ池山腹
醫博　富田精

帝大ホッケーリーグ試合

本學第二位に

第三回帝大ホッケーリーグ試合、本學對東大の一位決定再試合は六日午後三時から東大球場で擧行、左記成績で本學敗退し、結局（一）東大、（二）本學、（三）北大（四）九大の順位となつた

東大（2―1、3―1）京大

獨、佛語學の秋期開講

二十一日から

本學のお隣り東一條にある獨逸文化研究所および關西日佛學館では何れも來る二十一日から秋期講習を開講すべく目下新入生募集中、その概要は左の通りなれど詳しくは直接それ〲へ照會せられたし

獨逸文化 初級（準備科）中級（文法科）上級（教養科）高級（研究科）にわかれ、各級とも每週月水金の三回、晝間部は三時半から五時半まで、夜間部は七時から九時まで、聽講料は一期十三圓（學生生徒にかぎり十一圓）

日佛學館 普通部（初等、中等、高等の三科あり）女子部、專門部の外夜間講習會、通信講義もあり、秋期授業料は普通部、女子部、專門部とも十圓（學生は七圓）夜間講習會は八圓（學生は六圓）通信講義は五圓なほ今秋から每週一回金曜日に元本學教授今村新吉博士の佛語醫學書講義をひらく

法・MS君

御面談致したし、新聞部に發行人を訪問せられたし

樂友會館

最近の集ひ

▼十六日（木）◇產業組合研究會（五時）▼十七日（金）◇民訴研究會（五時）▼滿蒙研究會（五時）◇京都公證人會（五時）▼十八日（土）◇法律研究會（五時）◇京都レントゲン集談會（五時）▼十九日（日）◇公法研究會（一時）▼二十日（月）◇滿蒙電業採用試驗（午前九時）◇京都園藝クラブ（六時）▼廿一日廿二日廿三日（火、水、木）◇セメント講習會（五時）▼二十四日（金）◇教化振興會（五時）◇滿蒙研究會（五時）▼二十六日（日）◇古典學道場女性教養の會（一時）▼二十七日（月）◇經濟學會例會（六時）

本號から十四段制

紙價の影響を受けてこの新聞も本號から十四段制となりました、從つて一ページに付一段、一段に付單字で八行の增加になります、なほ本號は廿日付ですが繰りあげて十五日のあさ出しましたからそのつもりで御覽願ひます

フランス語
聽講生募集中
普通部（高等、中等、初等科）
專門部（佛國政府留學生試驗準備）
女子部
フランス語
フランス文學
フランス科學
佛語醫書講義
無料公開講義
フランス料理
教授　佛邦人五名　人五名
關西　日佛學館
吉田・東一條
電上一四三〇

秋の名畫祭
十三日より☆十五日間☆
クラーク・ゲーブル　クローデット・コルベール主演
最新輪再入版 或る夜の出來事
フランク・キヤプラ監督　ロバート・リスキン脚色
十八日より☆十三日間☆
ハンス・ヤーライ　マルタ・エゲルト主演
最新輪再入版 未完成交響樂
ウヰリイ・フオルスト監督　東和商事映畫部提供
廿一日より
第四回パラマウント・ウヰーク
戰禍と動亂の眞只中を行く激情のメロドラマ！
マドリッド最終列車
リユウ・エイヤース　ギルバート・ローランド　ドロシイ・ラムーア主演　ゼームス・ホーガン監督
愈々近日特別大封切敢行
海の魂
ゲイリー・クーパー
ジヨージ・ラフト主演
ヘンリイ・ハサウエイ監督
海のますらをが織る鮮烈多彩のスペクタクル！
パラマウントの名に恥ぢぬ秋シーズンの壓卷
パラマウント映畫本年度代表作日本版
☆☆☆日本映畫の隨一ト新鋭器具ウエスタン☆☆☆
ンクレエトリツク・ミラーフオニツ
クの名畫に迫力更に鮮烈！
京極映画劇場

秋の涼風と共に
秋からの酒（冷卸）が
着荷しました
正宗は元氣で皆樣をお待ちして居ります
新京極
江戸風流　季節料理
正宗ホール
電話本一八三五番
東京店・銀座四ノ四
祇園店　江戸前にぎり　まとゐ鮨

your CHANCE!
秋冬の服地特賣會
日々物價高騰の折柄、平素の御引立に報ゆる爲め有本は奉仕的値段にて在庫品一掃賣盡し會を開催致しました、是非御高覽の程を………
英國製品　￥65.00ヨリ………120.00マデ
日本製品　￥40.00ヨリ………75.00マデ
15日……25日
百万ベン　有本
MY ══ TAILAR ARIMOTO

施設完備のアパート
株式會社　京都アパート
電話上四四八八番
施設　各室電鈴、暖房裝置、年中無休の浴場、テニスコート外に附屬食堂

新刊書籍雜誌
教科書參考書
祥文堂書店
京大東門前
電話上六三五六番

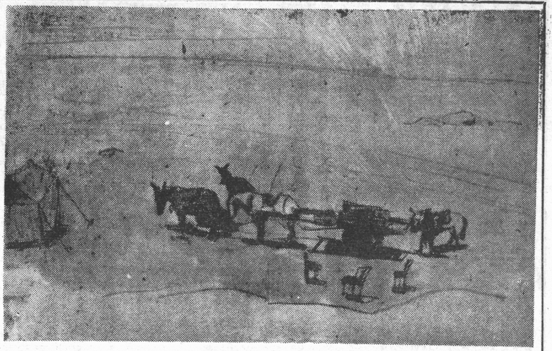
製圖器
ごま　萬年筆
增尾文尚堂
京都市百萬遍帝大裏門前
電話上三九二一番

（他人に頭を下げるより大きな顏で）
宮崎質店
左京區聖護院御殿北通り・電話上四七四九
取扱品
書籍、貴金屬
衣類、洋服
寫眞機、顯微鏡
蓄音機、債券等

新刊・雜誌の御用は
帝大裏門前
富貴堂書房

感じよき
皆樣の調髮所……
藤原理髮館
本店　帝大東門東入
支店　農學部正門前

古書籍高價買入
（御報參上）
エミヤ書店
左京區吉田二本松町
吉田神社鳥居前南入



滿洲スケッチ　濱田青陵

時局と作家の良心

高沖陽造

ロオレンスは小說といふものは無線電信の樣な機械よりも遙かに偉大な發見であるといつた。しかし小說がそれ程偉大な發見であるためには、何よりも先づ小說自身が何かを發見するものでなければならぬ。それはロオレンスの樣に性的情熱のゆきずきを人間生活上の最も神聖なものとして發見し表現しても構はない。もしもこの〝發見や〟表現が自由な立場においてなされ、人間性の深奥な生命に觸れてゐるならばそれが何かをひとに暗示するであらうからだ。例へばロオレンスの作品は性的情熱といふものは、あらゆる時においてあらゆるものを超越する程神聖なものではないといふことをひとに敎へる。いはば作品の全體的效果は彼自身の主張を裏切つてゐるのである。だがその效果の裏切りがどうあらうとも、ロオレンスは作家の第一義の良心を裏切りはしなかつた。この作家の第一義の良心とは、いふまでもなく彼自身が自由な立場において考へ探究するといふことである。この自由な立場はあらゆる創造と發見の母胎であつて、これなしには價値ある何物をも產み出すことはできない。

ある一つの強いられた立場、ある一つの追從する立場、これらの立場は、今言つた自由な立場とは違つたものである。そしてかゝるものが現代においては屢々、或はつねに作家を強制し〝誘惑す〟る。我々が見てゐる現代の作品のうちに、金に誘惑されない、資本や力に抑制されない、そして社會の浮薄な流行心理に追從しない作品といふものがどれだけあるであらうか。ゲエテは作品の價値は作家自身の生活の價値であると云つたが、現代においては眞に作家自身の獨自の生活から、何物にも顧慮することなき彼の靈感から產れ出る作品といふものは、益々少くなりつゝある。現在最も大衆的に讀まれてゐる「大衆小說」といふ代物は、さういふものの最もよき例である。昨日は甘つたるい淚まじりの戀愛に題材をとると思へば、今日は勇壯な戰時ものを書くといふ樣なことは、良心ある作家のよくなし得るところではない。だがこれらのものは藝術作品でもなければ、また藝術の代用品でさへもない。藝術作品といふものは戀愛ものから戰爭ものへと、例へばある化粧品工場を軍需工場へと編成替へする樣に、たやすく間に合せ的に編成替へできるものではないのである。かういふことが〝單純に〟できないのは、作家の心がけが善いからでも惡いからでもない。本來文學とか藝術とかいふものがさういふ特定の性格をもつたものなのである。この性格が氣に入らなければ、それは文學を破壞するより外方法はない。

だが今日における異常な時局の進展は、止むなくあらゆる思惟と感情の國家的統一をもたらしてゐる。かういふことも我が偉大なる日本國家の政治經濟的、そして文化的一飛躍のために重要な意義をもつてゐるであらう。そのことのためには作家が一時的犧牲を拂ふのも、國家的協力一致への意志表示として、寔に結構なことかも知れない。作家は自己の創作のために絕對的條件であるところの「自由な立場」を多かれ少かれ失ふことによつてこの國家的協力へ參加してゐるのである。然らば作家の良心はどうなるのであらうか。自由な立場がない時には、作家たることを止め、沈默するのが最も良心的なことだと云つてしまへば、問題は簡單に〝解決し〟てしまふ。かういふことも數年の準備と體驗を經て長篇作品を創る外國の極く少數の作家にならば、あてはまらないこともない。歐洲大戰中にはさういふ作家も若干居たのである。約三年間餘の沈默を守ればよかつたのだ。その收入が少ないために數ケ月中に一、二篇を書かなければならない日本の純文學者には、かういつたことは全くあてはまらない。

だがよく考へてみると、現代日本の純文學者は從來とも社會的內容に富んだ作品を餘り書かなかつた。純文學の內容は多く日常性の限界にとどまつてゐる。今日の統制は日常的生活にとどまつてゐる。今日の統制は日常的生活にまで影響してゐるけれども、社會的なものに比すればその度は遙に低いと見ねばならぬ。從つて純文學者は依然として或る程度の自由をもつてゐると云へる。しかし作家の良心は日常的なものを越えて、社會的な深さに達してこそ始めて生きるものとなるのだ。社會性の問題は文壇でも屢々論ぜられ、純文學がその〝方向に〟向つてゐたことは事實である。ところが事件によつてこの良心の方向に一つの變化が生ぜざるを得ないことになつてきたのだ。結局作家的良心にはもはや多くの道は殘されてゐない。たゞきわもの創造に墮さず、藝術の大道をゆくといふある種の藝美主義の道が一つ見當るだけである。この古くさい藝美主義に新しい內容を與へることこそ、現代の困難な時代に生くる作家の良心の任務でなければならぬ。

月の秋

安成二郎

秋らしい隨筆を書けといはれると、やはり私は月を書きたい、秋の銀座風俗や女人風景などは私には遠い興味である

今年もやがて中秋の月夜にならうとしてゐる、どこで今年は月を見るだらうか、去年の十五夜の月を私は江戸川べりで見た、京成電車を江戸川驛で降りると、すぐに川の右岸の堤に出る、廣い河原の半ば以上は葭原で、對岸の國府臺の森が月下に黑々と見え、その下に細く水が流れてゐる堤の草に坐つて、少し川下の空を行く月を見る、漂渺として孤獨寂寞の思ひに心をゆすぶられる、折々下流の鐵橋を通る京成と省線の電車が明るく暖かい感じを灯して行くばかり蟲聲四邊に滿ちて、顏を吹く風が肌寒い

▼……

一昨年の秋、私は初めてそこの月を見た、東京は曇りで折々雨さへ落ちて來るので、Mと二人そこまで月を見に行つたのだつた、さすがに風が強く雲が迅かつたが、雲の間に現はれる月は凄まじい美くしさだつた、去年は一人で月を見て遠方にゐるMのことを考へてゐた、葭の刈束の蔭から顏を出してかうして見ると、葭原にゐて月を見てゐるやうだと云つたMのユーモアを思ひ出したりした、今年もやはり私はあの江戸川べりへ月を見に行くことになりさうである

▼……

去年は九月に生れ故鄕の秋田へ四十年ぶりに旅をして、中秋九日の月を見て、ひどく感傷的な心情になつてゐた「月見ればちゞにものこそかなしけれ」といふが、久しくして見る故里の月ほどかなしいものはない、而も山の中の小さな町であるから、目に見るものは草の小徑も路傍の淸水も殆んど變つてゐないのに、人は一人も昔の人はゐないのである、その旅の歸りに、一人起きてゐて見た板谷峠の月も忘れ難い

▼……

中秋の名月ばかりではない、いつの月も私は好きである

忙しく人は往き交ふばかりなり心にとめて月は見ざらむ

これは銀座の夏の月であつた、初秋の七月の月は、湯上りの裸に團扇を使ひながら、座敷の電燈を消して、雨の緣に出て見てゐると芭蕉の廣葉に涼風が立ち、庭が荒れて雜草が生ひ繁り、どこか山深い宿にでもゐるやうに、その日の苦勞が忘れられる

月光のあまねき蚊帳に入りにけり

これはそんな夜の夏の月である、この句は數年前の作であるが「蚊帳となりにけり」とした方がいいかどうか、私は今に判斷しかねてゐる

▼……

月雲にかくれし雨戸しめにけり

武藏野の草の月夜や秋の蚊帳

前のは中秋の月、後のは九月の月である、俳句や短歌を嗜んでそして月が好きなのだから、月の歌や句が澤山ありさうなものであるが、なかなか人に示すやうなのはない

酒飲めば酒に醉ひたる月と我蹣跚として大空を行く

はやて吹き雲は飛びゆく折々に雲間に月の圓き面テ見ゆ

山冷えを身におぼえつつ窓により久しくをりぬ月に向ひて

酒の歌はいい歌ではないが、時に大いに醉つて短冊を突きつけられたりすると私は大概この歌を書くことにしてゐる、山冷えの歌は數人の友人と伊香保へ遊んだときの歌で、早春の月である

▼……

句や歌も調べればまだあるかも知れないが、それよりも私に月の童謠が一つあり、私の實に好きな童謠であるから、それを書いて置きたい、題は「お月さん」

とうさんのとうさん
そのまた
とうさん
かあさんのかあさん
そのまた
かあさん
むかしのむかしの
お月さん
お月さん

この童謠の內容は俳句や短歌の形式には入り難い、近頃の俳句しか知らない俳人、短歌しか知らない歌人などが、何もかも自分の形式に入れやうとするので、俳壇や歌壇がひどく混亂してしまつた、――いや、そんな議論をするつもりではなかつた（九月十日）

映畫選評臺

有能監督の弊

「人情紙風船」を評す

「人情紙風船」のスタイルは餘りに美しい。然し、例へば俳諧といふ形式をアプリオリにすれば、それ以外の現實は作者をよけて通り過ぎる。餘りに美しい、それだけに哀れをそゝるスタイルである。

×

長十郎と翫右衞門がそれぞれ演ずる浪人海野と髮結新三。抑壓される時代に結局は敗れる二つの人の姿。山中貞雄はその背後に坐してなるべくレアリズムから避けようとして――をかしな云ひ方であるが、日本の時代劇映畫の美的典型は、所詮洗練された封建的感覺に他ならない

×

この映畫に一應取扱つてゐる現實は、近代のものである。感覺を以つてしては、切り拓けない苦惱である。「人情紙風船」の善さ惡しさは共に茲に出發する。映畫はかうして「日本的」になるべきものだらうか。日本の有能監督が、こぞつて雲丹をしやぶり酒をなめるの道を行くべきか否か。

×

「彥六大に笑ふ」「人生劇場」の人々は、これらの作が封建的「さはり」に名を得てゐる點を一考せよ(E)

シナリオ文學とシナリオライター

井伊亞夫

一

シナリオ文學が提唱されて、この數ケ月來、ジヤアナリズムは一つの話題を拾つたばかりでなく、例へば雜誌「新潮」の如き、小津安二郎氏原案、八木保太郎氏脚色「愉しき哉保吉君」を掲載して、謂ばシナリオ文學の實際化をはかるに至つた。この企ては割合に好評を博し、本多顯彰氏の如き、東朝紙上で、意義ある中間讀物として稱讃してゐる。又中央公論には村山知義氏「新選組」が最近掲載された。

文學としてのシナリオに關する理論的問題はともかくも、この場合、シナリオが「文學として」通用するといふことは、實は、シナリオが商品として、ジヤアナリズムの需要對象となつた、といふことに他ならない。從つて「シナリオ文學は可能なりや」といふ、好んで雜誌編輯者の提出した問題は、言葉を換へていへば、シナリオは讀物として商品價値ありや、といふことに他ならない。この問ひに對しては「文學として」は種々疑問があるにしても「讀物として」は大體一般の贊成を得てゐるやうである。

新らしい品
よい品
藤田化粧品店
新京極

たとへ、中間讀物としてではあれ、シナリオが商品性を獲得したことは、それ自身としては喜ぶべき現象であらう。然しながら、この傾向の背後には、一つの危險な問題がかくされてゐる。それは、現在撮影所に働くシナリオライターの藝術的ならびに生活上の問題である。

註、シナリオ文學の藝術論的な見透しに就ては村山知義、岩崎昶兩氏の評論（新潮七月號）を、特に岩崎氏の所論に筆者はくみする。

二

シナリオ文學の提唱を、單に表面的に歡迎し、如何にして讀書層を獲得するかといふ、餘りにも文筆業者的な取り上げ方に就いては（例へば村山知義氏「文藝時評」文藝春秋九月號）種々な側面から不滿を感ずる。ジヤアナリズム市場に於て、將來幸ひにシナリオが盛行を見るに至つた場合、それが何處から提供されるかに從つて現在撮影所に働くライターの、第一に藝術的な、第二に生活的な地盤が可なりな變動をうけるからである。

現在各社が、それぞれ相當な原作をストックし（東朝七月二十九日（?）號參照）單にこれらのストックを死藏せしめたくないといふ理由から、シナリオライターを全く職人的に使役してゐる點は、既に周知のことであらう。この職人的な不遇を脫出することが、いひかへれば、ライターが原作中心的に活動することが、今日彼等の藝術的向上の第一步なのである。

シナリオ文學は、恐らく將來において、今日流行してゐる文藝ものの企畫を、打破するに違ひない。最近、原作の有する宣傳力に依存する企畫が、營業的にも藝術的にも、豫期の成績をあげない傾向は（その最も良い例は「宮本武藏」である）この見透しを裏書する。

その場合、シナリオ文學の運動が餘りにも「文壇的」に過るとすれば、撮影所に於けるライターの位置は、ますます職人的とならねばならない。文壇と仁義的交渉にある人々が（勿論その人の有能は考慮に入るべきだが）ジアナリズムに取上げられ、それが又映畫資本の商業主義に買ひとられる、謂ば原作者が撮影所外に在つて、ライターは完全なるコンテイニユイテイ・メイカーになる。これは充分にありうる事情であると思ふ。

三

そればかりではなく、シナリオ文學の提唱者の中には、既に撮影所外に於ける原作者としての（從つて藝術家としての）シナリオ作家と、純然たる技術者としてのシナリオライターとを唱導する人さへ（ある）と聞いてゐる。勿論筆者と雖、將來原作的な才能の人々が、撮影所とフリーランサーの關係にあつて、專ら原作を提供し、所內にはコンテイニユイテイ專門の技術者がある、といふ事情が、ことによつては現れるかも知れないと思ふ。然しながら、さうした豫想が、シナリオ文學の唱導に於ける「過剩文壇的」色彩をゆるす理由にはならない。

これらの主張には、映畫に對する根本觀念の缺如がある――この點を筆者は指摘したかつたのである。即ち映畫の場合、それがシナリオに關してでも、個人の藝術活動は、必ず集團としての撮影所の機構と切離しては、論ずべからざるものであること、殊にシナリオライターの問題は、映畫の藝術的向上の見地から、最近とみに身近な課題とさへなつてゐる點を忘れてはならない。最近東西のシナリオライターの會が合同して、第一に職業組合としての目標をたててゐる以上、この問題に關しても充分の考究を必要とする。現實の問題として生活上の條件にも關聯する以上、一考を煩はす次第である。

勿論、筆者はシナリオがジアナリズムに歡迎されることを喜ぶ一人である。そして、その方面の技術的研究にも贊成するに吝かではない。問題は、實際的な意味あひからして、何を主とすべきかにある。この小論が「シナリオライターの爲め」に書かれたものであるとなす人々は、未だ問題の核心にふれてゐない。いふまでもなく、この小論は、映畫理論の根本的觀念」の爲めにものされたのである

こほろぎ

早瀬讓

ひるの間は家內とよむす子らいねてりんと鳴き澄むこほろぎのこゑ

宵に食ひし西瓜の種とこほろぎとかゝはりはなきを夜ふけて思へり

子供の入院

板敷の板目に巣喰ふ油虫の人に怖ぢぬを憎み暮せり

油虫の這ひ出て這ふ板敷に付添のわれは丸寢をするも

子の寢たる白きベッドに傾ける日差やはらぎ秋といふかも

夢のうちにきゝゐしこゑのしばしばも吾子と思へこゝは病院

夜のうちに命を死なず靨めし子に與ふ麥湯を汲みに通ふも

藤田君上海に活躍す

從軍記者となりたる友は避難せしダンサーなどをインターヴュせり

おでんとお食事
氣樂で明るい店
而も山海の珍味揃ひ
（晝食の用意あり）
百萬遍郵便局ポスト東入
帝大屋

カメラ各種
小型活動
在庫豐富
カメラ
御不用品
特＝高價
即金買入
わかばや寫眞機店
京都四條寺町東入・電本3924

寫眞は松浦
寫眞は松浦
寫眞は松浦
寫眞16ミリ映畫撮影
現像技術全般
中板1組4枚……￥2.00
東山線熊野神社上ル東側
マツウラ寫眞場
電話上3322番

洋樂レコードの賣買なら是非專門の當店へ！
河原町通夷川南入
クレモナ
電話上2023　振替897
リスト贈呈
高級版特に高價買入

爽涼のシーズン！
未覺の秋
エービーシー食料品店
吉田・農學部正門前　電話上2133番

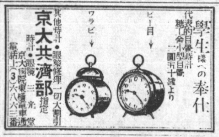
帝國大學醫院眼科
府立醫科大學眼科
赤十字社京都支部眼科
御指定
眼鏡專門
正確廉價
眼鏡
吉川眼鏡店
本店・京都帝國大學醫院眼科前　電話上四九一二番　振替大阪七八七二八番
支店・京都府立病院正門前

一ケ月―一枚―一〇錢
クリステル
ドイツ製替刃
（○・○・二粍）
化粧品店にあり

高級カメラ中古品高價買入・交換歡迎
カメラと16 8 M.M.は
格安品多數
ヤシバ商會
本店　京都市三條通堺町東　電本4459
四條支店　河原町西御旅町　電本1710

白井直眼鏡店
京都帝大病院前
電話上(3)2279
振替大阪30580
國光レンズ發賣元
大阪東區平野町四丁目　電話本局(23)0163

日本映畫界の王道を進む前進座P.C.L.映畫!!
人情紙風船
劇壇の寵兒前進座一黨の錬達なる演技と流麗なる台詞と加ふるに山中貞雄の氣鋭溢るゝ演出
作　三村伸太郎
演出　山中貞雄（P・C・L入社第一回作）
美術監督　岩田專太郎
前進座　河原崎長十郎　中村翫右衞門　山岸しづ江　他總出演
題材を深川陋巷の一角に探つて描く、江戸末期の疲れ切つた庶民の世相！明日を夢みる力もなく、空しく溝泥のごとく饐えてゆく人生。ちよん髷をつけて現代の肺腑を衝く山中貞雄の名作！日本映畫の最高傑作
十五日封切
同時上演
P・C・L　御橋公　霧立のぼる　時代劇第一回出演
エンタツアチヤコの
僕は誰だ
完全冷房
京寶劇場
電話本局(2)五一四五・五一五一番

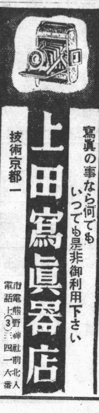


學生樣への奉仕
代表的目覺時計
精工舍小型目覺
一圓五十錢より
ビー目
ワラビ
其他時計・眼鏡修理一切大割引
京大共濟部指定
時計・眼鏡　三光堂
京大病院東橋電車通
電話上(3)六八六三番

値下斷行
各種雜誌の製本市圖書一般の修理
古本を新しく直す製本屋
上京區烏丸通寺之內上ル
鹽田更生堂
（電話西陣四五三〇番）

ITIDAYA
帝大正門前
家具屋
ITIDAYA

寫眞の御用は
專門・佐伯へ
電上四八六九



寫眞の事なら何でもいつでも是非御利用下さい
技術京都一
上田寫眞器店
市電熊野神社前北入
電話上(3)四一六番

正しい洋服は
京大御用達
若葉屋洋服店
農學部正門前
電話上六六三三番

京大共濟部指定
中小路時計店
各眼科處方箋調製
修理
調整
農學部前
電話上四二八七

先づ良品をお選び下さい
それには大丸のマークが是非必要です。なぜなら大丸商品試驗所の嚴重な檢査濟のものばかりですから――だいまるは常に「良品推奬」「粗惡品驅逐」の信條により生彩ある百貨を充實してをります。
月曜日休業
京都四條
大丸
電代表本局2121・2166番